

平成26年度

社会福祉法人慈照会事業報告

通所介護事業
短期入所生活介護事業
訪問介護事業
居宅介護支援事業
介護老人福祉施設事業
ケアハウス事業

平成26年度社会福祉法人慈照会事業報告

1. 総 括

わが国経済は、消費税引き上げ前の駆け込み需要の反動減や物価上昇などの影響があったものの、企業収益の改善傾向や個人消費の底支えなどもみられるようになり、緩やかな回復基調が続いている。

当法人では、4月の消費税増税に伴う利用料変更に対応、次年度の介護報酬改定にかかる情報収集を進めた。年明けに基本サービス費の大幅なマイナス改定が決定し、可能な加算体制の整備を進めた。期限を迎える社会福祉法人新会計基準への移行については平成27年度予算より実施した。急速な少子高齢化の中、最重要課題である人材確保と定着を目的として、前年度よりエイデル研究所と協働し準備を進めてきた、キャリアパスに対応した新人事制度を本格的にスタートした。自身の業務を把握し課題を明確にし、着実にステップアップすることによって、職員のやる気、育成に結びつくシステムとして定着させていきたい。

備品の更新、環境整備については、新車両ラクティスを導入、寝具マット90枚、複合機2台、エアコン18台、感染症対策の霧化器47台を更新した。今後のご利用者情報の一元化による業務の効率化、充実した情報管理によるサービス向上、記録の電子化に向けて、介護ソフトほのぼのNEXT（新バージョン）へ移行した。ご利用者、職員の負担軽減（腰痛対策）のため移乗用福祉用具を導入したが、今後も他の用具を含めて積極的に導入を進めたい。着実に入居者、ご利用者、職員にとっての環境向上を進めた。

収入については、昨年比で増収となり予算を達成した。職員体制は、正規職員増減なし、準職員2名増となり年度末職員数は81名となった。

今年度は対外的な講師派遣、事例発表参加により、施設のイメージアップに貢献した。単なる介護事業者ではない社会福祉法人として、年間を通じて地域交流、地域貢献、緊急在宅サービスに対応、安心して暮らせる地域づくりに貢献するべく活動した。

※重点目標

(1) 職員教育体制の充実とキャリアパスへの取り組み

キャリアパスに対応した（新給与制度、人事考課制度）導入した。求められる職務行動基準の浸透を進めた。施設内研修会を11回実施した。

(2) 人材確保と働きやすい職場づくりによる職員の定着

職員食事をグループ別に2回実施。職員を褒めることをテーマとして月間 MVP 実施。職員の負担軽減（腰痛対策）のため福祉用具の移座えもんシート、スライディンググローブを研修後に導入。

(3) 地域交流と貢献

東近江介護サービス事業者協議会会長、滋賀県介護サービス事業者協議会連合会役員、滋賀県老人福祉施設協議会理事の施設として年間を通じて活動し、地域貢献とネットワーク強化を進め、新たな知識見識を職員に提供した。滋老協を通じて縁えにし創造実践センターにも参画した。その他事業参照。

2. 事業別重点目標

【通所介護事業】（定員：通常規模型30名、認知症対応型12名）

新規利用者は36名（昨年比90.0%）であったが、一日平均利用人数は27.8名（昨年比103.3%）と昨年を上回った。収入目標75,000,000円は達成した。

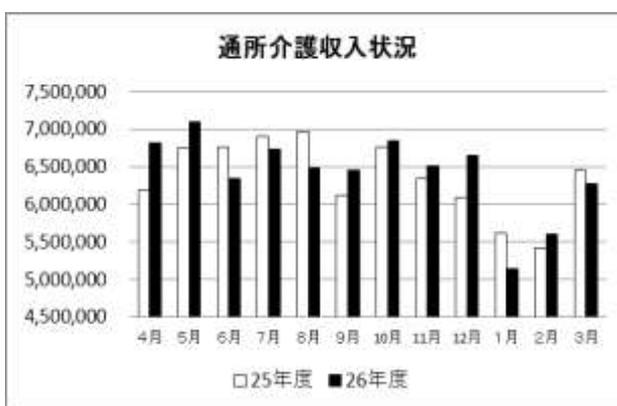
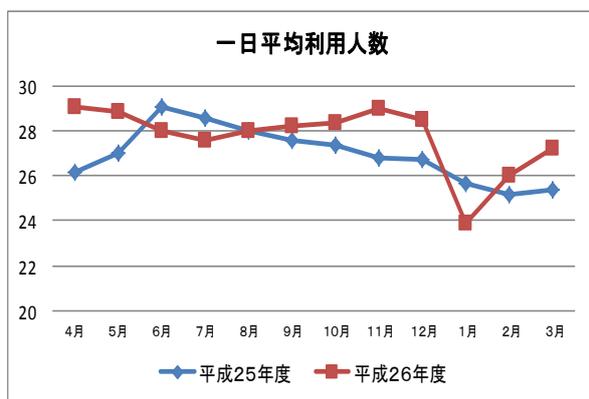
重点目標：職員一人一人の能力を引き出し、ご利用者が安心できる支援を行う

介護の質向上のため、定期的な職員勉強会を行う。新人職員育成のためのステージングの作成、実施。適時アセスメントを実施、利用者個々の援助を確立する。

結果：週2回の勉強会の実施により、職員のスキルアップ、ご利用者の状態把握に繋がった。新人教育については、連絡ノート作成など新しい取り組みにより、新人の疑問点解消に努めた。

利用状況

	営業日数	利用実人員	新規利用者	一日平均利用人数			
				介護予防	認知症対応型	通常規模	合計
4月	26	94	6	0.9	2.2	26.0	29.1
5月	27	90	1	1.1	2.5	25.3	28.9
6月	25	87	2	1.2	2.6	24.2	28.0
7月	27	86	9	1.3	3.0	23.3	27.6
8月	26	82	2	1.6	2.7	23.7	28.0
9月	26	85	1	1.9	3.1	23.2	28.2
10月	27	87	2	2.0	3.3	23.1	28.4
11月	25	88	3	2.4	3.2	23.4	29.0
12月	26	88	2	2.9	3.0	22.6	28.5
1月	24	83	2	2.6	2.5	18.8	23.9
2月	24	86	4	2.9	2.6	20.5	26.0
3月	26	84	2	3.0	2.4	21.8	27.2
年間	309	86.6	36	2.0	2.8	23.0	27.8



【短期入所生活介護事業】（定員：16名）

新規利用者は70名（昨年比92.1%）であったが、一日平均利用人数は17.5名（昨年比105.4%）となり昨年を上回る利用状況となった。収入目標84,000,000円は達成した。

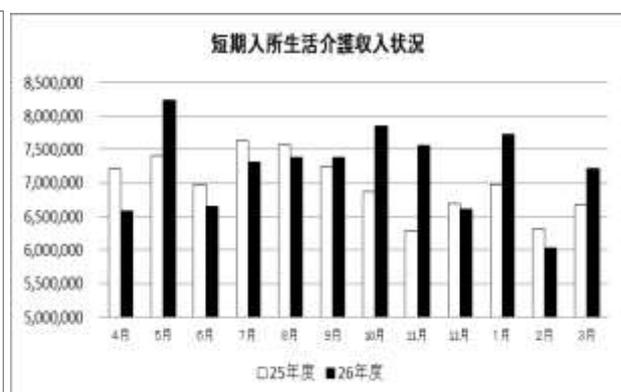
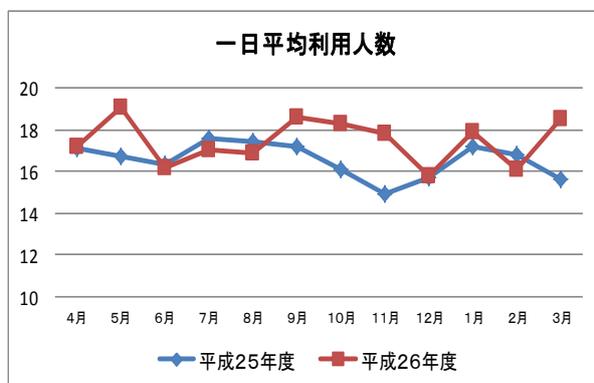
重点目標：ご利用者に寄り添い、一人一人の生活を大切にする

一人一人をよく知り、その人らしい生活ができるように「関わり」を大事にする。

結果：外出や作品作り、おやつ作り等、月担当を決め計画的に取組めた。移乗用リフト、移座えもんシート等福祉用具を積極的に使用し、ご利用者や職員の負担軽減ができた。工夫により本人に合った福祉用具の提供をできるよう努めた。排泄マニュアルの作成により、統一した排泄介助に取り組めた。また、ご利用者別の排泄パターンの見直しや取組みで、皮膚トラブルを防ぐことができたが、取組む内容が多く把握が難しかった。居室、ホールの換気や消臭スプレーを使用することで臭いへの対策ができた。申し送りノートの活用により以前と比べ、ご利用者情報の伝達が確実に became したが、記入漏れもあった。ご利用者の写真をケース記録に綴じることによって把握が進んだ。

利用状況

月	新規利用者	利用実人員	一日平均利用人数	ベッド稼働率(%)
4月	3	76	17.2	107.7
5月	5	88	19.1	119.2
6月	8	77	16.2	101.3
7月	10	82	17.0	106.3
8月	7	83	16.9	105.6
9月	5	80	18.6	116.5
10月	4	73	18.3	114.7
11月	4	79	17.8	111.5
12月	7	77	15.8	99.0
1月	7	75	17.9	111.9
2月	6	67	16.1	100.4
3月	4	70	18.5	115.7
年間	70	927	17.5	109.2



【訪問介護事業】

新規利用者38件、延訪問件数は11,883件（昨年比89.5%）となった。多くの新規を受け入れたが、一件当たりの訪問回数、時間が少なく安定せず、収入目標36,000,000円（2,000,000円マイナス補正）は未達成であった。

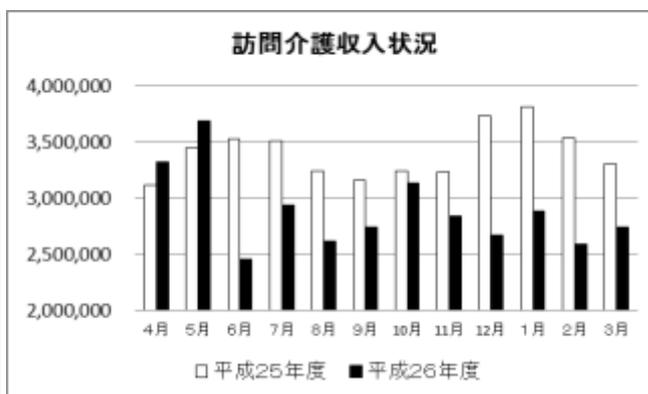
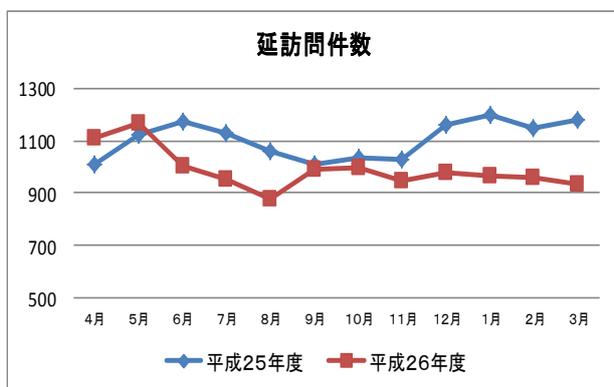
重点目標：在宅サービスを支えるプロのサービスの徹底

人として尊重されること、プライバシーが確保できること、心身の安全の保障をすること、専門職としての職業倫理、知識、技術を向上させるとともに、ケアレスミスをなくす。

結果：ヘルパー会議を中心に、報告、連絡、相談をしながらケアの見直し、確認を徹底した。施設内研修への参加率も高く、職業倫理、知識、技術の向上に結びついた。ご利用者との会話の話題を豊富にするために様々な方面の情報を収集するように各ヘルパーが努めた。

利用状況

月	予防		介護		予防+介護	
	利用実人員	延訪問件数	利用実人員	延訪問件数	利用実人員	延訪問件数
4月	14	78	50	1033	64	1111
5月	14	78	50	1089	64	1167
6月	14	73	51	930	65	1003
7月	17	95	48	861	65	956
8月	19	99	41	781	60	880
9月	21	112	46	876	67	988
10月	22	131	43	867	65	998
11月	21	125	43	821	64	946
12月	20	113	44	863	64	976
1月	19	107	44	860	63	967
2月	20	105	47	853	67	958
3月	19	111	43	822	62	933
年間	220	1227	550	10656	770	11883



【居宅介護支援事業】

新規利用者が34件（昨年比100%）、年間プラン件数は1233件（昨年比108.9%）と伸びた。施設入居による解約が多く年度末の職員1名の退職による影響もあったが、4月に他事業所からの移行による新規受け入れが多くあり、収入目標15,000,000円（500,000円プラス補正）は達成した。

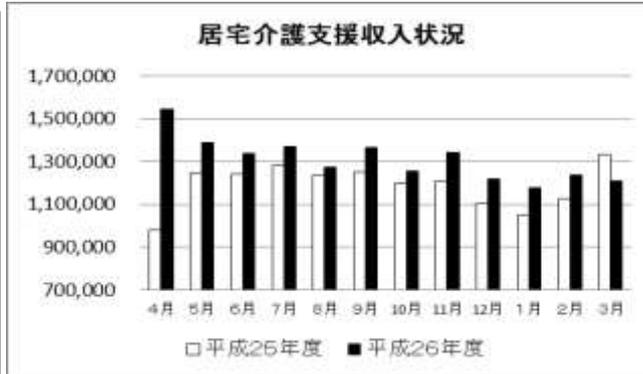
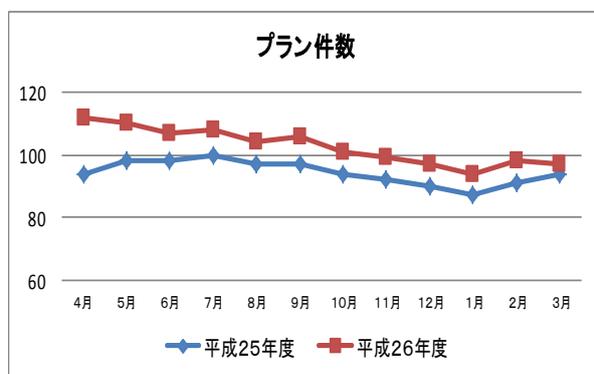
重点目標：生活を支えるための多職種連携を意識したプラン作り

“生活を診るプロ”である介護支援専門員としての役割を自覚し、アセスメントを見直す。そして、生活全方位をカバーするために、家族をはじめその領域の専門家の知恵を借り、連携をより意識していく。そのことが視えるプラン作りを目指す。

結果：アセスメントの見直しとして、今年アローチャートを使用したアセスメントを取り入れ、研修等に積極的に参加した。またグリーンケアの研修と実践を通じて継続した支援を心がけた。各領域の専門家、特に主治医との連携のためのプラン提出から始めた。

利用状況

月	新規利用	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	14	11	10	38	27	12	8	6	112
5月	1	10	11	35	29	13	8	4	110
6月	2	11	11	33	27	14	8	3	107
7月	5	11	13	36	25	14	7	2	108
8月	4	10	13	37	22	14	6	2	104
9月	1	9	12	37	24	16	6	2	106
10月	0	7	13	34	26	14	5	2	101
11月	2	6	15	35	21	13	7	2	99
12月	2	4	15	35	21	15	5	2	97
1月	1	4	15	34	19	15	5	2	94
2月	2	5	15	32	21	17	6	2	98
3月	0	5	15	31	22	14	7	3	97
年間	34	93	158	417	284	171	78	32	1233
月平均	2.8	7.8	13.2	34.8	23.7	14.3	6.5	2.7	102.8



【介護老人福祉施設事業】（定員：54名）

一日平均在居人数は、49.9名（昨年比101.4%）となり昨年を上回ったが、1月～2月のインフルエンザの集団感染は課題となった。収入目標 186,000,000 円は達成した（4,000,000 円マイナス補正）。

重点目標：重点目標：ケアの標準化を図り、介護サービスの質の向上を進める

- ① 職員間の意識、知識、技術レベルの格差是正、
- ② 状態変化への気づき、対応力を高める
- ③ 職員間の連携を深める
- ④ 中途採用を含めた新人スタッフ教育の質向上

結果：中堅職員中心に新たにケア改善委員会を立ち上げ、重点目標と日頃の課題改善を進めた。今までにはなかった中堅職員からの問題提起の場が増えた事は、主体的に行動する機運には繋がった。状態変化の気づき、対応力については、特にインフルエンザ蔓延時に職員格差、当事者意識の欠如が見られ、課題として残った。新人教育に関し、昨年同様にシート記入、定期面談を通じた振り返りの機会があったが、年間通じての目標設定ができなかった。また指導担当者間での連携やマニュアルに沿った指導には至らず、特養全体で育成する体制についても、今後の課題となった。

平成27年3月31日現在

入退居状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
入居	1	0	3	2	0	0	1	2	1	1	2	2	15
退居	0	1	2	2	0	0	3	1	0	2	3	1	15
在籍者数	54	54	54	54	54	54	54	53	54	53	54	53	53.7
在居人数	49.9	50.5	47.8	48.9	50.9	51.5	50.6	50.2	52.6	52.2	45.8	49.0	49.9

入居者在居期間

	男性	女性	平均
平均在居期間	17.7	39.5	37.9

在居期間	男性	女性	実数	構成比 (%)
1年未満	3	10	13	24.5
1年以上2年未満	0	11	11	20.8
2年以上4年未満	0	16	16	30.1
4年以上6年未満	1	7	8	15.1
6年以上8年未満	0	1	1	1.9
8年以上10年未満	0	2	2	3.8
10年以上	0	2	2	3.8
合計	4	49	53	100.0

入居者年齢状況

年齢	男性	女性	計	構成比 (%)
70～74歳	0	1	1	1.9
75～79歳	1	5	6	11.4
80～84歳	1	11	12	22.6
85～89歳	1	11	12	22.6
90～94歳	1	11	12	22.6
95～99歳	0	8	8	15.1
100歳～	0	2	2	3.8
計	4	49	53	100.0

	男性	女性	全体
最高年齢	93	101	101
最低年齢	84	72	72
平均年齢	85.8	88.0	87.8

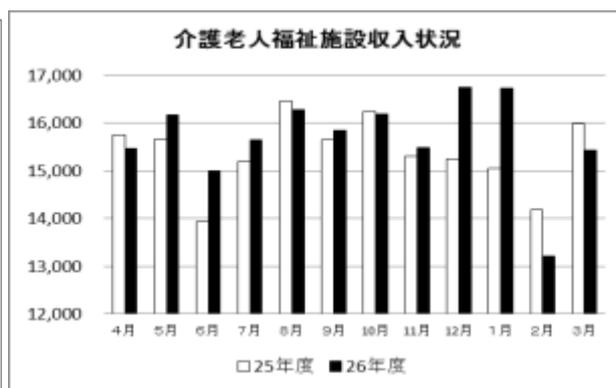
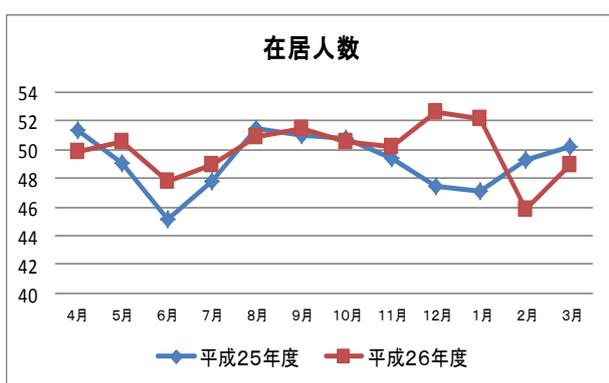
要介護度別入居者状況

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
入居者数	6	12	13	14	8	53
構成比 (%)	11.4	22.6	24.5	26.4	15.1	100.0

平均要介護度 3.11

待機者数

要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人数	17	35	62	71	31	216
構成比 (%)	7.9	16.2	28.7	32.9	14.3	100.0



【ケアハウス事業】（定員：15名）

法人全体の協力で、新規入居者6名を迎え入れることができたが、2人部屋の空きを解消できなかった。施設見学者が昨年より増加し19名となったが、年度末待機者は個室1名、2人部屋1組であった。

重点目標：衣・食・住を原点に「住んでみたい」と思える、魅力ある施設作り

館内共有スペースの心地よい雰囲気作り、新たな身体機能維持と認知症予防への取り組み、外出を含めた行事の充実、重度化予防の一環としての健康管理強化、外部への広報活動に努める。

結果：新たな体操を開始したが、難しく再検討が必要となった。認知症予防については、計算ドリルの他に、趣味活動を通じた手先の運動を実施した。行事は、季節に偏りはあるものの、前年度より実施回数は増えた。待機者確保のため、ケアマネ、行政への空き情報等の提供に努めた。

平成27年3月31日現在

入退居状況

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
入居	0	0	0	1	0	1	0	0	1	1	1	1	6
退居	0	0	1	0	1	1	0	2	0	1	1	0	7
入居者数	14	14	13	14	13	13	13	11	12	12	12	13	—

平均入居年数 男性 2年4ヵ月 女性 3年2ヵ月 全体 2年9ヵ月

入居者年齢状況

年齢	男性	女性	計	構成比 (%)
65～69歳	0	0	0	0.0
70～74歳	0	1	1	7.7
75～79歳	0	0	0	0
80～84歳	2	3	5	38.5
85～89歳	2	1	3	23.1
90～94歳	0	4	4	30.7
95～99歳	0	0	0	0
100歳～	0	0	0	0
合計	4	9	13	100.0

最高年齢 男性 89歳 女性 93歳

最低年齢 男性 83歳 女性 72歳

平均年齢 男性 86.6歳 女性 86.8歳 全体平均 86.7歳

入居者要介護度

介護度	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人数	4	1	3	3	2	0	0	0	13
構成比 (%)	30.7	7.7	23.1	23.1	15.4	0	0	0	100.0

待機者： 個室 1名 2人部屋 1組

3. その他事業

【配食サービス】

市の委託ではない直接契約の利用もあり、土曜、祝日も配達したため年間営業日数273日(昨年比111.4%)、食数643食(昨年比167.6%)、一日平均食数2.3食となった。

【新人事制度】

キャリアパスに対応した新人事制度(新給与制度、人事考課)を本格的にスタートした。

4月3、4日	新人事制度職員説明会
4月8、9日	求められる職務行動職員説明会
6月4日	人事考課プロジェクトチーム会議①
7月3日	人事考課プロジェクトチーム会議②
7月16日	人事考課プロジェクトチーム会議③
9月10、11日	Doo-CAPシート(目標管理・評価シート)書き方説明会
9月11日	人事考課者研修①
10月22日	人事考課者研修②
1月14日	評価者会議、最終評価

【委員会活動等】

(人事考課プロジェクトチーム・研修教育体制チーム) 会議開催数6回

プロジェクトチームにて人事考課表作成。施設内研修会を8回、月間MVPを1回実施。

(事故・苦情防止委員会) 委員会開催数4回

事故、苦情を分析し、各事業所へ配布。8月に入居者、ご利用者の声を聴こう月間を実施し、より良いサービスを考える機会とした。リスクマネジメント研修会を2回実施。

(環境整備委員会) 委員会開催数2回

除草作業、窓拭き、エアコンフィルターの清掃について計画、実施。夏祭り打ち上げ、忘年会を企画実施。ポスターの掲示等感染症の啓発に取り組む。

【職員研修】

外部研修及び会議に年間延225名を派遣するとともに、施設内研修会を実施した。

※施設内研修会

実施日	テーマ	講師	参加者数
4月1～4日	新人職員入社時研修	法人職員	3名
5月18日	普通救命講習	東近江行政組合八日市消防署救急係	20名
7月25～30日	食中毒予防DVD研修		80名
8月25日	人権学習会	若杉 一夫氏	34名
9月29日	リスクマネジメント研修I	滋賀県介護福祉士会 今井幸枝氏	30名
10月22日	事例で考える介護技術	クローバー 代表 中村 真理氏	33名
11月10、19日	福祉用具導入研修	クローバー 代表 中村 真理氏	48名
11月26日	感染症予防について	日野記念病院 安藤 一義氏	36名
11月28日	施設におけるリスクマネジメント	びわこ共和保険 坪田吉弘氏	8名
12月12、22日	介護技術・基礎編	クローバー 代表 中村 真理氏	42名
3月5日	介護職の職業倫理	滋賀県介護福祉士会 村田美穂子氏	29名

【月間 MVP】

お互いを認め合う職場づくりとして月間 MVP を実施。

テーマ「褒めたい職員」 期間：9月1日～30日

最優秀者1名 優秀者3名 最多投票者1名表彰

【衛生委員会】

月1回テーマを設けて衛生委員会を実施。

4月	年間計画及び議題について	10月	下半期議題について
5月	福利厚生について	11月	感染症対策について
6月	食中毒について	12月	防災について
7月	熱中症対策について	1月	メンタルヘルスについて
8月	交通安全対策について	2月	過重労働対策について
9月	腰痛対策について	3月	施設内環境について

【講師、事例発表等】

各種団体の要請もあり、職員を講師派遣し、事例発表にも参加した。

日付	内容	派遣人数
7月22日	びわこ学院大学就職説明会及び模擬面接会	1名
7月25日、26日	さざなみ苑認知症研修会	1名
10月23日	生涯現役社会の実現に向けた地域ワークショップ	2名
10月28日	認知症ケアネットワークを考える会	1名
11月7日	滋賀県企業子育て応援フォーラム	1名
11月11日	滋賀県老人福祉施設研究協議大会	2名

【地域交流・貢献】

地域交流、地域貢献は社会福祉法人の最重要テーマであり、様々な取り組みに参加、実施し、講師派遣も行った。

日付	内容	参加者・派遣人数
6月26日	建部幼稚園交流会	54名
7月8日	建部民協会議	10名
8月3日	カルナ納涼夏祭り	340名
9月14日	カルナハウス敬老会	212名
9月27日	建部幼稚園・すみれ保育園運動会	9名
9月27日	第8回建部あったかネット訓練	6名
10月22日	山の神ふれあいサロン研修会	24名
11月8日	山手、山の神、山の神北町人権のまちづくり町別懇談会	2名
11月19日	建部幼稚園交流会	41名
3月6日	すみれ保育園交流会	40名

【消防・防災】

総合訓練を5月、3月の2回、夜間想定避難訓練を10月、3月の2回実施した。

【ボランティア、実習生の受け入れ】

多くの団体、個人のボランティアの皆様にご支援とご協力を頂いた。また、多くの実習生等を受け入れた。

実 習
<p><学校関係></p> <ul style="list-style-type: none">◇ 聖徳中学校 職場体験学習 2名◇ 滋賀学園高校 介護福祉現場実習 12名、◇ びわこ学院短大 介護福祉士養成コース 施設現場実習 4名◇ 愛知高等養護学校 就業体験実習 1名 <p><その他機関></p> <ul style="list-style-type: none">◇ 滋賀県政策研修センター 福祉体験研修 2名◇ 介護労働安定センター 実務者研修 2名◇ シルバー人材センター 介護職員初任者研修 2名
ボランティア
<p><団体></p> <ul style="list-style-type: none">◇ すみれ会（大正琴） ◇ 二胡っ娘（二胡演奏） ◇ Liberty（総合パフォーマンス）◇ 公益社団法人顔と心と体研究会（リハビリメイク） ◇ ぴちぴち生ママレモンず（楽器演奏）◇ さわかクラブ（歌謡） ◇ コスモス会（大道芸、日本舞踊） ◇ ひまわり会（喫茶・敬老会）◇ 杉の子会（夏祭り） ◇ 湖東信用金庫（夏祭り） ◇ 滋賀銀行（夏祭り） ◇ 中島商事（夏祭り）◇ アルティ（夏祭り） ◇ ワークホームズ（夏祭り） ◇ ライフテックミツダ（夏祭り）◇ 建部民生児童委員（除草作業・夏祭り） ◇ 建部日本赤十字奉仕団（除草作業・窓拭き） <p><個人></p> <ul style="list-style-type: none">◇ 大江昌巳様（ハーモニカ演奏） ◇ 江頭 翼様（歌謡）

4. 慈照会年間行事等

4月	1日 入社式 1日 職員会議 (事業計画、予算、新人紹介等) 24日 第1回経営会議	10月	14日 滋賀県、東近江市指導監査 16日 第7回経営会議 17日 職員健康診断 21日 第2回食事会 (Aグループ) 27日 入居者健康診断 29日 インフルエンザ予防接種
5月	15日 消防設備機器点検 22日 第2回経営会議 22日 第1回総合避難訓練 (消防立会) 26日 監事監査 27日 第1回評議員会、理事会 29日 第1回食事会 (Aグループ)	11月	4~26日 文化月間 (展示) 11日 滋老協研究大会参加 (9名) 13日 消防署立入調査 20日 第8回経営会議 20日 第2回食事会 (Bグループ) 28日 消防設備機器点検 (2回目)
6月	18日 第3回経営会議 18日 第1回食事会 (Bグループ)	12月	5日 第2回評議員会、理事会 17日 法人忘年会 25日 第9回経営会議
7月	8日 建部民協中庭除草作業 9日 第1回食事会 (Cグループ) 14~15日 近畿老人福祉施設大阪大会 (5名参加) 17日 第4回経営会議 26日 建部日赤除草奉仕作業	1月	1日 年賀式 15日 第10回経営会議
8月	3日 カルナ納涼夏祭り 6日 夏祭り打ち上げ 20日 第5回経営会議	2月	17日 マグロ解体ショー 20日 第11回経営会議 24日 認知症対応型通所介護実地指導
9月	14日 カルナ敬老会 19日 第6回経営会議 25日 新規学卒者入社試験	3月	13日 第2回夜間想定避難訓練 20日 第12回経営会議 20日 第2回食事会 (Cグループ) 24日 夜勤者健康診断 27日 第3回評議員会、理事会 30日 第2回総合避難訓練

※その他施設内会議

スタッフ会議 (週1回) デイショート会議 (月1回) ヘルパー会議 (月1回)

居宅介護支援事業所会議 (月1回) 特養会議 (月1回) ケアハウス会議 (月1回)

事務会議 (月1回) 給食会議 (月1回)